※令和４年度以降入学生用

学校番号	1208

令和５年度　総合科

教科	総合	科目	考える時間２	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実社会における諸問題について、各教科の視点から考察する授業です。論理的に考えるということだけでなく、人間の心理についても考え、正解が一つでない問題に取り組み、グループワークで納得解を見つける活動もします。

２　学習の到達目標

【a:知識及び技能】
様々な正解が１つでない諸問題について現在行われている対応策について理解させる。
【b:思考力、判断力、表現力等】
他者とコミュニケーションをとり協働することにより、課題解決力や企画・調整力を身につけさせる。
【c: 学びに向かう力、人間性等】
自己の充実や生きがいをめざし、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	様々な社会の諸問題について現在ではどのような対応がなされているのか理解している。	・社会の諸問題について、その原因や解決方法を考察できる。	自ら、社会の諸問題に興味をもち、解決しようとする姿勢が身についている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	※各内容によって専任の教員が担当するため、クラスによって、学ぶ順番を変えて行う。	ｴｸｽﾌﾟﾚｯｼｮﾝ ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ･ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	a: 様々な表現技法やその特徴について理解している。 b:他者に伝わるよう言葉や話法等工夫をしている。 c: 他の人の発表内容を理解しようとしている。	提出物 観察	提出物 観察	提出物 観察
		社会の諸問題について数学的に考える	a: 数学の特徴を理解し、それが実生活にどのように活用されているか理解している。 b: 数学の有用性に気付き、実生活を想定しそれらの活用方法を考えている。 c:数学を用い、社会をよりよくしようとしている。	提出物 観察	提出物 観察 発表	提出物 観察 グループワーク
		時事問題	a:社会ではどのような問題が起こっているのか理解している。 b:時事問題について自分なりの意見や解決方法を考えている。 c:社会的事象や諸課題について、相互理解や解決に向けて主体的に理解しようとしている。	提出物 観察	提出物 観察 発表	提出物 観察 グループワーク
		ｱｸﾃｨﾌﾞｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	a: 場面に応じてコミュニケーションの手段が異なることを理解している。 b:様々な場面で他者に伝わるよう工夫をして英語を活用している。 c: 他の人の発表内容を理解しようとする。	提出物 観察	提出物 観察 発表	提出物 観察 グループワーク
		社会の諸問題について科学的に考える	a:科学の特徴を理解し、それが実生活にどのように活用されているか理解している。 b:社会をよりよくするために、実生活において科学の活用方法を考えている。 c: 科学を用い、社会をよりよくしようとしている。	提出物 観察	提出物 観察 発表	提出物 観察 グループワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度